

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：教育費 項：教育総務費 目：教育人事費

事業名 新 学習指導員等配置事業費補助金（コロナ分）
--

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

教育委員会教職員課 小中学校係 電話番号：058-272-1111（内 3526）

E-mail：c17766@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 122,429 千円（前年度予算額：0 千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	122,429	40,809	0	0	0	0	0	0	81,620
決定額									

2 要求内容

（1）要求の趣旨（現状と課題）

新型コロナウイルス感染症については、令和2年5月14日に本県に対する国の緊急事態宣言が解除され、「学校における新型コロナウイルス感染症対応<学校再開ガイドライン>」に基づき、令和2年6月より学校の教育活動を再開している。しかし、学校再開後も予断を許さない状況にある。そのため、3密を避けるための環境づくりや、臨時休業や欠席による学習の遅れや学力格差への対応など、児童生徒の学びを保障するうえで必要な人的体制整備を支援する必要がある。

（2）事業内容

- ・個々の学習支援や心のケアなどきめ細かな対応
- [配置要件] 全学校に1名（小・中・義：536校）
- [実施事業主体] 市町村

（3）県負担・補助率の考え方

- ・国 2 / 9 県 4 / 9 市町村 3 / 9

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	122,429	【学習指導員による個別支援】 ・ 1人当たり年間 175 時間 (1 時間 / 日 × 5 日 × 35 週) ・ 536 人分 (小 : 359 人、中 : 175 人、義 : 2 人)
合計	122,429	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 「岐阜県学校における新型コロナウイルス感染症対応

＜学校再開ガイドライン＞」

「クラスを複数のグループに分けた上で、使用していない教室を活用するなどして、児童生徒等の席の間に可能な限り距離を確保 (1 ~ 2 m 程度) し、対面とならないような形で教育活動を行う。」

「児童生徒等の心身の健康に十分配慮するため、教育相談や「心のアンケート」を実施するほか、状況に応じて学校医やスクールカウンセラー等と連携して対応すること。」

(2) 事業主体及びその妥当性

- ・ 「学習指導員による個別支援」の事業主体は市町村 (学校の設置者) であるため、市町村教育委員会の意見・要望を踏まえて実施する。

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・新型コロナウイルス感染症対策として、3密を避けるための環境づくりや、児童生徒が欠席した場合の学習支援など、児童生徒の学びの保障を徹底的にサポートするために必要な人材を配置する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

- ・新型コロナウイルス感染症への対応として実施するものであり、指標の設定になじまない。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	今後も新型コロナウイルス感染症の感染拡大の恐れがあり、3密を避けるための環境づくりや、臨時休業や児童生徒が欠席した場合の学習支援が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・国や県の指針を踏まえ、3密を避けるための環境づくりに柔軟に対応する。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・TT指導や放課後の補習等、個別対応により、きめ細かく児童生徒の学習を支援する。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】